

同窓会だより

第13号 発行:同窓会事務局

2025年3月発行

後輩の道標

静岡県立大学短期大学部 学長 今井康之

静岡女子短期大学、静岡県立短期大学部の同窓生の皆様に、ご挨拶申し上げます。令和6年4月より、静岡県立大学短期大学部の学長に就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

静岡女子短期大学は昭和26年（1951）に開学しました。今から70年以上も前のことです。昭和62年（1987）に静岡県立大学が発足し、それにあわせて静岡県立短期大学部が浜松市に開学しています。平成9年（1997）に短期大学部の静岡校が静岡市に開校し、学科の新設と移設が続いて、平成12年（2000）短期大学部の本部が静岡市・小鹿の地となりました。平成19年（2007）に、静岡県公立大学法人が設立・運営する形となり、平成28年（2016）にこども学科が新設されました。

私は、東京都の出身ですが、父の友人が静岡市にお住まいでしたので、小学生の頃に静岡市に訪れたことがあります。浅間神社の横にかつてあったリフトに乗って、賤機山に登ったことを良く覚えています。平成10年（1998）に、静岡県立大学薬学部の教授に着任してから、すでに26年間静岡市に住んできました。薬学部では、微生物学講座（現在の免疫微生物学分野）を主宰しました。私自身は免疫学が専門ですが、県立大学の食品栄養科学部で植物生理学を専門としている先生と共同研究を行って、レタスなどの野菜に人工的に抗体（免疫の働きを実行するタンパク質の一つ）を作らせる研究をしてきました。略して「植物抗体」といいます。

ところで、歴史を振り返ってみても、短期大学は地域の高等教育へのアクセスを支える、重要な役割を担ってきたと思います。また、現在の短期大学部生の皆さんの様子を拝見しても、試行錯誤の面も多いでしょうが、それぞれの人が好奇心にあふれ、国際交流にも前向きな姿がうかがえます。短期大学など高等教育の目的は、専門的知識や技術の伝授はもちろんのことですが、様々な人との出会いを通じて、自分が打ち込めることを探し出し、自分の目標を実現する方法を考える力を獲得することにあると思います。

同窓会の皆様にも、様々な難問／分岐点を乗り越えてこられたご自身の経験をふまえ、後輩たちを励まし、手助けいただけると幸いです。これからも、静岡県立大学短期大学部を母校をして、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

新役員紹介

山崎未結

社会福祉専攻 令和5年度卒業
現職：介護職員



現在は特別養護老人ホームに就職し、介護分野の勉強に励んでいます。

仕事は大変ですが、コミュニケーションを大切に日々頑張っています。

県短が皆さんにとって帰ってきやすい場所となるよう、取り組んでいきたいです。
よろしくお願いします。

片瀬千夏

社会福祉専攻 令和5年度卒業
現職：介護職員



令和6年度に社会福祉専攻を卒業し、現在は特別養護老人ホームにて介護士として働いております。

介護士として、入居者様がゆとりある豊かな暮らしが送れるよう支援しています。

これから同窓会役員として、卒業生の方が心の隅でいつでも県短のことを思い出しながらまた会いたいと思って貰えるような活動ができるよう励んでいきたいです。

橘花祭に行ってきました！

令和6年11月9日（土）10日（日）に橘花祭（静岡県立大学短期大学部 学祭）が開催されました。
クラス展示の様子をご紹介します。

歯科衛生学科

【歯科衛生士体験】

インクを歯垢に見立て取り除く体験ができ、仕事を身近に感じて貰えるようにしたそう。実際にやってみると、細かい部分はとても難しかったです。



【県短子育て支援ひろば】

ままごとや汽車、赤ちゃん向けの玩具のほかに、制作コーナーもあり、にぎわっていました。また、学生がお子さんにに向けて劇や歌を披露し、お子さんも一緒になって楽しむ姿がありました。



こども学科【フォトスポット】

エリックカールの「はらぺこあおむし」を題材にした顔抜きパネルの展示がありました。室内ははらぺこあおむしの音楽を流す演出も！



社会福祉学科社会福祉専攻

【理想の街を作ろう】

模造紙に、理想のお店や風景を描き足していきます。みんなの「こうだったらいいな」が重なるとどんな街になっていくか面白いですね。

こども学科【さかなつり】

磁石とクリップで未就園児も遊びやすいコーナーになっていました。時間制限も特になく、のんびりと楽しむことができました。



橘花祭実行委員長にインタビュー！！

子ども学科2年
中村 月(つき) さん



今年の橘花祭のテーマは？

↓「レインボー・小鹿」です。近年話題にのぼることの多い「GRU+」など、多様性を意識したテーマにしました。社会福祉学科の「理想の街」や、男子が中心になったメイドカフェなど、テーマに沿った企画も盛り込みました。

ズバリ今年の見所は？

↓2、3年生はそれぞれの個性を発揮して企画に参加していますし、1年生はとにかくフレッシュで元気なので、そういった姿を見て欲しいと思います。

・実行委員長として大変だった点は？

↓夏休み直前くらいに委員会が発足したのですが、実習と被ったり、40人の委員の予定を合わせて会議を企画するのが大変でした。対面でのミーティングは、あまり出来ませんでしたね。僕自身も各クラスの担当者達もそれぞれ初めての経験でしたが、手探りで頑張ってきました。

・県短での生活楽しいですか？

↓はい！もちろん勉強や実習にはしっかり取り組んでいますが、どちらかというと、色々楽しんで生活したいなと思ってます！

・同窓会役員も、委員の皆さんが頑張って準備された企画を楽しませてもらいました。中村委員長、どうもありがとうございました！

【今年のホームカミングデイ也大盛況でした！】

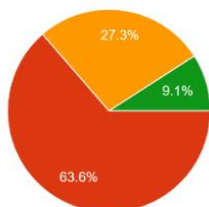
今年度も友だちやお子さんと一緒にたくさんの卒業生が参加して下さり、賑やかな雰囲気でした。年々参加者が増えてきていて嬉しく思います。近況や思い出話で盛り上がっていました。

また、今年度から参加者にアンケートのご協力をお願いしました。参加してくださった卒業生のご意見をいただき、次年度からのホームカミングデイ開催の参考にさせていただきます。アンケートのご協力ありがとうございました。



今後ホームカミングデイに期待すること

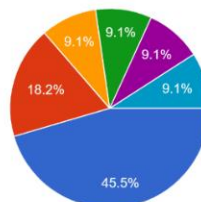
11件の回答



- セミナーや講演会を同時開催してほしい
- 先生を沢山呼んでほしい
- 出席者を増やし、大々的に開催してほしい
- 同期生に会いたい

ホームカミングデイに来ようと思った理由

11件の回答



- 当時の先生に会いたかった
- 友人に会いたかった
- 久しぶりにキャンパスを訪れてみたかった
- 友人の誘い
- 誘われたので
- 最近の業界事情を聞いてみたかった

今回のホームカミングデイの良かった点、改善点5件の回答

- ・初めて参加しましたが家族分のお弁当まで用意していただき懐かしい友人たちと楽しい時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。
- ・ご飯やお菓子が充実している。
- ・先生たちと話せて楽しかったです！来年はもっと人誘います（笑）
- ・今回はちゃんとしたお弁当が出て良かった。
- ・お弁当より軽食のほうがいいのかと思います。あと席の入れ替えの提案もあればより交流が進むかと。

その他、ご意見・ご感想3件の回答

- ・今回初めての参加でしたが、どんな雰囲気かわかったので、また参加したいと思います。お弁当も頂けて良かったです。
- ・10年前、20年前など卒業年が古い人も集まれるようにしてほしい。
- ・何期生かとかでテーマを分かち合うのもいいと思います。業界を盛り立てるための在校生との交流も魅力的です

～同窓会名簿の更新について～

同窓会では、会員相互の親睦を図り、母校発展のために寄与することを目的とし、毎年、総会やホームカミングデイの開催、同窓会だよりの発行等の活動を行っています。各種ご案内につきましては、会員の皆様が在校時に登録していた情報に基づいて行っているところですが、卒業後の住所やメールアドレスの変更等により、多くの会員に十分な連絡ができていない状況が続いています。

そこで、同窓会名簿の更新をお願いしたく、会員の皆様には、現在の住所、連絡先等について、静岡県立大学短期大学部ホームページ内の「同窓会送信フォーム」より名簿の更新をお願いいたします。なお、ご卒業後、在校時の情報から変更のない方も、改めてご登録をお願いいたします。

http://req.qubo.jp/u_shizuoka/form/bX0viS2G

○本件に関するお問い合わせ

担当：静岡県立大学短期大学部同窓会事務局

電話：054（202）2611

メール：tandoso@u-shizuoka-ken.ac.jp



寄付金口座のご案内

同窓会では寄付講座を開設しています。
ご支援のほど、よろしくお願いします。

銀行名／スルガ銀行
支店名／静岡東支店
店番号／725
口座番号／3252720
預金番号／普通預金
口座名／橘花会(タチバナカイ)

同窓会だより第13号をお届けします。

今回は、今まで業者をお願いしていた同窓会だよりの編集を役員で行いました。内容は大幅に変わらなかったと思いますが、会員の皆様に”今の県短”の何をお届けしようか試行錯誤しながら作成しています。今後も皆様が卒業しても身近に感じられるよう、精進してまいります。（増水真帆）

同窓会だよりでは、会員の皆様からの情報を広く募集しています。掲載ご希望の方は、同窓会事務局までご連絡ください。

連絡先(mail) :tandoso@u-shizuoka-ken.ac.jp